

# 総務編

*GENERAL AFFAIRS*



# 庶 務

## 1 歴代消防長

(平成 23 年 12 月 31 日現在)

代 位	氏 名	就 任 年 月 日	退 任 年 月 日
初 代	小 峰 晃	昭和 41 年 10 月 1 日	昭和 49 年 6 月 10 日
二 代	高 橋 清 美	昭和 49 年 6 月 11 日	昭和 59 年 3 月 31 日
三 代	池 上 三 郎	昭和 59 年 4 月 1 日	昭和 62 年 3 月 31 日
四 代	梶 原 祐 三	昭和 62 年 4 月 1 日	平成 2 年 12 月 31 日
五 代	永 富 準 一	平成 3 年 4 月 2 日	平成 7 年 3 月 31 日
六 代	西 山 義 則	平成 7 年 4 月 1 日	平成 9 年 3 月 31 日
七 代	小 川 澄 人	平成 9 年 4 月 1 日	平成 14 年 3 月 31 日
八 代	大 西 國 博	平成 14 年 4 月 1 日	平成 16 年 3 月 31 日
九 代	立 石 敬 二	平成 16 年 4 月 1 日	平成 20 年 3 月 31 日
十 代	高 野 和 明	平成 20 年 4 月 1 日	平成 23 年 3 月 31 日
十 一 代	柴 田 信 義	平成 23 年 4 月 1 日	現在に至る

## 2 職員の階級別現員数 (階級別定員は定めていない)

(平成 23 年 12 月 31 日現在)

階 級	消 防 監	消 防 監	消 防 司 令 長	消 防 司 令	消 防 司 令 補	消 防 長	消 防 副 長	消 防 士	一 般 員	合 計
現員数	1	1	5	18	26	42	9	45	1	148

## 3 職員年齢調

(平成 23 年 4 月 1 日)

区 分	消 防 監	消 防 監	消 防 司 令 長	消 防 司 令	消 防 司 令 補	消 防 長	消 防 副 長	消 防 士	一 般 員	合 計
30 歳未満						5	3	44		52
30 歳～ 40 歳未満					7	28	6	1	1	43
40 歳～ 50 歳未満				2	8	4				14
50 歳以上	1	1	5	16	11	5				39
計	1	1	5	18	26	42	9	45	1	148

## 4 職員の勤続年数

(平成 23 年 12 月 31 日現在)

区 分	消 防 監	消 防 監	消 防 司 令 長	消 防 司 令	消 防 司 令 補	消 防 長	消 防 副 長	消 防 士	一 般 員	合 計
10 年未満						14	8	45		67
10 年～ 20 年未満					9	23	1		1	34
20 年～ 30 年未満				2	6					8
30 年以上	1	1	5	16	11	5				39
計	1	1	5	18	26	42	9	45	1	148

5 職員の配置状況

(平成23年12月31日現在)

区分	消防正監	消防監	消防司令長	消防司令	消防司令補	消防士長	消防副士長	消防士	一般職員	合計	
消防本部	消防長	1								1	
	次長			1						1	
	総務課	課長 課長補佐				2					2
		係長					2				2
		総務企画係						1			1
		経理係						1		1	2
		総務課付							1	5	6
小計	1	0	1	2	2	2	1	5	1	15	
予防課	課長 課長補佐				1					1	
	係長					2				2	
	予防係						1			1	
	指導係						1			1	
小計	0	0	0	1	2	2	0	0	0	5	
警防課	課長 課長補佐				1					1	
	係長					2				2	
	警防係						1			1	
	管理係									0	
小計	0	0	0	1	2	1	0	0	0	4	
指令課	課長 課長補佐			1	4					5	
	係長				1	1				2	
	指令係					1	1			2	
	小計	0	0	1	5	2	1	0	0	0	9
消防本部計		1	0	2	9	8	6	1	5	1	33
消防署	筑紫野署	署長			1						1
		課長 課長補佐			1	5					6
		係長				2	6				8
		警備第1係						5	1	3	9
		警備第2係						3	1	6	10
		救急救助係						11	3	4	18
		南出張所					2	4		5	11
小計	0	0	2	7	8	23	5	18	0	63	
太宰府署	署長		1							1	
	課長 課長補佐			1	2					3	
	係長					10				10	
	警備第1係						5		6	11	
	警備第2係						3	1	8	12	
	救急係						1	1	4	6	
	東出張所						4	1	4	9	
小計	0	1	1	2	10	13	3	22	0	52	
消防署計		0	1	3	9	18	36	8	40	0	115
合計		1	1	5	18	26	42	9	45	1	148

## 6 教養委託実施状況

(平成 23 年度)

実施機関	区 分	科 目 (内 容)	委託 人数	研修期間
消防 大学 校	幹部科	消防に関する高度の知識及び技術を総合的に修得させ、消防の上級幹部たるに相応しい人材を養成する。	1	6/13～ 7/28
	救助科	救助業務に関する高度の知識及び技術を専門的に修得させ、救助業務の教育指導者等としての資質を向上させる。	1	8/22～ 10/12
福 岡 県 消 防 学 校	初任教育	新たに採用した消防職員の全てに対して行う基礎的教育訓練をいい、修了後、直ちに警防隊員として活動できる職員を養成する。	6	4/6～ 9/21
			5	10/5～ 3/27
	警防実務研修	火災防ぎよを中心とした実科訓練を実施することにより、隊員としての防ぎよ活動及び機関運用能力を備えた職員を養成する。	1	4/18～ 4/22
	上級幹部科	上級幹部にふさわしい業務管理、人事管理、危機管理に必要な知見を備え、かつ、職責遂行に必要な水準の判断力を有し、組織全体を円滑に管理運営できる職員を養成する。	1	4/26～ 4/28
	中級幹部科	中級幹部として、消防行政の動向を理解するとともに、迅速かつ確かな意志決定により、上司の補佐及び部下の指揮監督を行い、組織を管理運営できる職員を養成する。	1	6/9～ 6/17
	救助科	救助活動に係る最新の専門的知識及び専門的で高度な技能、技術を修得し、救助隊員として活動できる隊員を養成する。	1	6/1～ 6/28
	初級幹部科 A	分隊長（小隊長）として、必要な業務管理や現場指揮要領を修得させ、上司の補佐及び部下の指導を行い、業務の遂行ができる職員を養成する。	2	7/25～ 7/29
	初級幹部科 B	初級幹部として、旺盛な職務遂行の意欲にあふれ、消防行政の現状や課題を理解し、上司の補佐及び部下の指導を行い、業務の遂行ができる職員を養成する。	1	6/30～ 7/13
	救急科	救急医学に関する基礎知識に基づき、応急処置時における的確な観察・判断能力、応急処置に必要な専門的技能を修得し、救急隊員として活動できる職員を養成する。	6	9/29～ 11/17
			5	1/12～ 2/28
特殊災害科	多数の傷病者を発生させるおそれが高く、消防活動に困難を伴う災害現場において、特に隊員の安全管理に配慮しつつ、適切、効果的な消防戦術を指揮できる職員を養成する。	1	12/6～ 12/14	
予防査察科	予防・査察業務に関する専門的及び技能を修得し、厳正で公正な査察及び重大な違反対象物に対する是正指導、法令に基づく権限行使が行える職員を養成する	1	3/5～ 3/16	

## 7 職員の任用状況

(平成 23 年度)

区 分	合 計	消 防 正 監	消防監	消 防 司 令 長	消 防 司 令	消 防 司 令 補	消 防 士 長	消 防 副 士 長	消防士	一 般 職 員
採 用	12								12	
昇 任	21	1		1	2		14	3		
退 職	4	1	1	1		1				

# 会 計

## 1 平成23年度消防組合一般会計決算額（見込み）

歳 入			歳 出		
科 目	決算額 (千円)	構成比 (%)	科 目	決算額 (千円)	構成比 (%)
1. 分担金及び負担金	1,397,740	96.6	1. 人 件 費	1,239,772	86.0
(1) 分 担 金	1,395,744	96.5	(1) 職 員 給	944,668	65.5
(2) 負 担 金	1,996	0.1	(2) 共 済 費 等	295,104	20.5
2. 使用料及び手数料	700	0.1	2. 物 件 費	88,534	6.1
3. 財 産 収 入	747	0.1	3. 補 助 費 等	12,318	0.9
4. 繰 越 金	8,861	0.6	4. 普 通 建 設 事 業 費	41,899	2.9
5. 諸 収 入	10,662	0.7	(1) 補 助 事 業	0	0.0
6. 組 合 債	26,000	1.8	(2) 単 独 事 業	41,899	2.9
7. 国 庫 支 出 金	1,000	0.1	5. 公 債 費	58,821	4.1
			6. 積 立 金	14	0.0
合 計	1,445,710	100	合 計	1,441,358	100